

社会資本総合整備計画

枚方中部地区都市再生整備計画

平成 2 5 年 3 月

大阪府 枚方市

都市再生整備計画(第4回変更)

ひらかたちゅうぶ
枚方中部地区

おおさかふひらかたし
大阪府枚方市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	枚方市	地区名	枚方中部地区	面積	680 ha
	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標

歴史と文化を身近に学び生かすとともに、安全で安心に暮らせるまちづくり
 ①歴史的遺産と文化施設を活かした、都市の魅力を感じ、住み続けたいまちの形成を図る。
 ②幹線道路整備による、道路ネットワークの強化と安全・安心なまちづくりを進める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○本地区は、西側は淀川が流れ京阪本線が走り、東側は国道1号線が走っています。南側は天野川を経て枚方市駅につながる利便性に富んだ地域となっています。
 ○この地域の中心となる、関西外国語大学の移転跡地を対象に「安心と輝きの社」整備計画を策定し、「輝きプラザきらら」の整備をはじめ、中央図書館、防災公園、都市計画道路等の一体的な整備を進めてきました。

○「**輝きプラザきらら**」は、**生涯学習情報プラザ**：市民の自発的な学習活動・芸術等の文化活動を支援し、生涯にわたって学び続ける環境をつくります。(学習、情報ルーム)・**地域活性化支援センター**：産・学・行政・市民が協働して行う知的創造活動の場の提供。・**地域防災支援センター**：災害時における備蓄倉庫、臨時災害対策本部室、**教育委員会事務局**：社会教育部 社会教育課(文化財に関すること)等、**歴史と文化の情報発信及び地域防災の拠点**となっています。

○この施設を中心とし、**歴史の軸**として、北側より片笠神社、史跡として九頭神廃寺、牧野車塚古墳、禁野本町遺跡、百済寺跡、禁野車塚古墳や文化財として清院跡など歴史的資源が多く点在しています。**文化の軸**として、牧野生涯学習センター、「輝きプラザきらら」と都市計画道路楠葉中宮線を挟んで「中央図書館」、御殿山駅周辺には「教育文化センター」「御殿山生涯学習美術センター」があり、枚方市駅周辺には今後「総合文化施設」の建設や、旧村野小学校の校舎等を改築し、市民による様々な文化・まちづくり活動を行う施設として、「サブリ村野」の整備を予定しています。
 ・各施設は、情報発信の拠点となる「輝きプラザきらら」からの情報を活かし、市民に学び・体験してもらうことを目的に活用を図っていきます。

○地区の中心となる車塚公園は、防災公園街区整備事業により、国の史跡に指定されている牧野車塚古墳を中心とした既存の車塚公園(12,000㎡)を総面積5万㎡に拡張し、公園内に防火水槽、耐震性貯水槽、非常用トイレ等を設置し、広大な芝生広場を災害時の一時的な避難地として活用するほか、復興支援活動や、広域避難地(淀川河川公園、山田池公園)を補完する機能を備えた**防災公園**として整備しています。

○現在、地域幹線道路整備として、枚方藤阪線、楠葉中宮線の整備に取り組んでおり、この道路整備により道路ネットワークの強化と、各施設や歴史遺産などの地域資源をつなぎ「歴史と文化を身近に学び生かす」とともに、災害時の防災拠点施設への避難路が確保される。さらに、新市民病院建設に伴う周辺の道路整備等により、拠点の活用が図れる災害に強い「安全で安心に暮らせるまちづくり」を目指しています。

課題

・拠点となる「輝きプラザきらら」は平成17年4月にオープンしましたが、拠点機能を発揮するために各施設と連携し、それらを支える道路ネットワークの整備が必要。
 ・本地域では、文化・芸術活動が盛んではあるが、活動の成果を生かす施設が未整備であるため、地域住民の生きがいを創出するための施設整備が必要。

将来ビジョン(中長期)

・「枚方市都市計画マスタープラン(平成12年2月)」では、都市の魅力を感じる融合と調和のまち形成を整備コンセプトとして、枚方市の中心地に近い利点を活かして若年層から高齢者まで、多世代が永く住み続けることができる住宅地の形成をめざしますとしています。各施設をつなぐ道路整備を行ない、それらは災害時の避難路としても活用していきます。

そのなかで、地域における文化・芸術の創作活動を支える施設では、市民の生涯にわたる「学び」を支える機能を有し、そこで生み出された市民創作活動(学び)の成果を発表するための「学び」を生かす施設を整備することによって、市民の生きがいを創出します。

また、「学び」を生かす施設では、地域の歴史・文化・芸術に関する情報を集積し、展示するなど地域住民への情報発信機能を備えることにより、地域の歴史や文化との出会いに触れる機会を与え、日々の生活に潤いや感動をもたらすとともに、心のゆとり、地域への愛着の醸成などの相互効果が期待できます。こうした観点から、市民の文化芸術活動などの生涯学習の充実を図り、まちの賑わいを推進していきます。

さらに、施設整備によりもたらされる効果として、枚方南地区において整備される歴史街道を中心に、歴史性を継承する歴史景観の交流・形成地域と、枚方中部地区で創出される歴史的遺産を中心とした、歴史薫る文化地域とを繋ぐ拠点施設が、両地区の橋渡しとなり、市民にとって歴史文化をより身近に感じられるまちづくりを進めます。

目標を定量化する指標

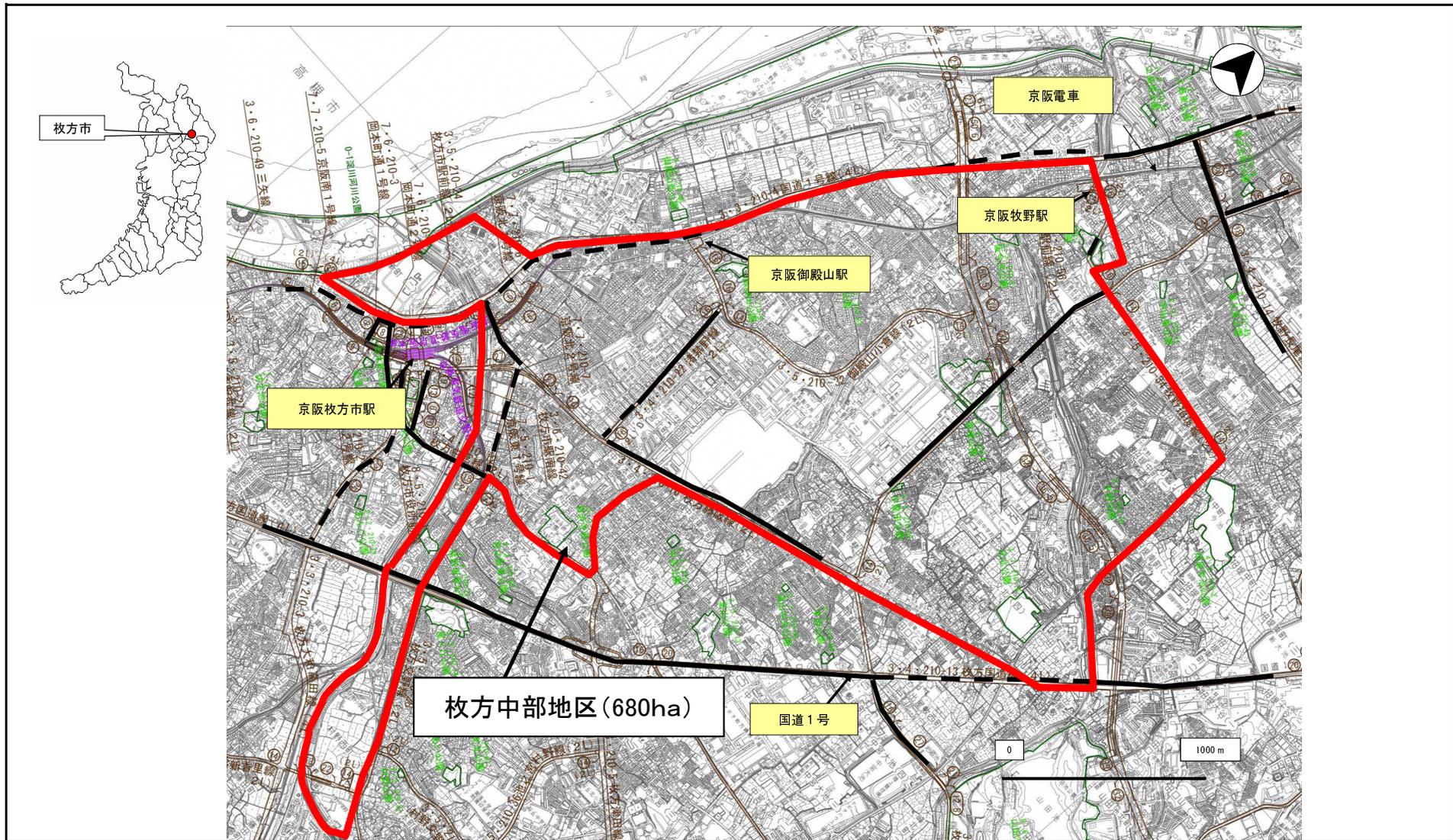
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
イベント等への参加者数	人/年	シンポジウム・歴史散策等への参加人数	歴史遺産を活用したシンポジウム等への参加者数の増加	150	平成19年度	250	平成24年度
幹線道路の渋滞長	m	渚中宮線のピーク時渋滞長	道路ネットワークの強化を図るための渋滞長の縮小	120	平成21年度	30	平成24年度
歩行者の安全率	%	渚中宮線における歩行者が安全に歩ける割合	安全・安心なまちづくりをすすめるために、歩行空間の確保	70	平成21年度	100	平成24年度
市民活動拠点施設の利用件数	件/年	サブリ村野を含む枚方中部地区における市民活動拠点施設の利用件数	市民・市民団体等の施設利用の増加	11,772	平成21年度	17,512	平成24年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・歴史的遺産と文化を活かした、都市の魅力を感じ、住み続けたいまちの形成を図る。 文化施設や歴史的遺産が多く、それぞれが連携し有効活用が図れるような居住環境整備を行ないます。 各施設や歴史的遺産を土台に、子どもから高齢者まですべての市民が身近に学び、その成果を発表する施設整備を進め、市民の生きがいを創出します。</p>	<p>公園：九頭神廃寺史跡公園整備事業 公園：禁野車塚史跡公園整備事業 まちづくり活動推進事業：歴史遺産活用啓発事業 既存建造物活用：サブリ村野整備事業</p>
<p>・幹線道路整備による、道路ネットワークの強化と安全・安心なまちづくりを進める。 幹線道路の整備により道路ネットワークの強化を図り、この地区の中心でもある市の防災拠点への避難路を確保し、「安全で安心に暮らせるまちづくり」を進めます。</p>	<p>道路：渚中宮線整備事業</p>
<p>その他</p>	
<p>九頭神廃寺 ・九頭神廃寺は北河内最古の寺院の一つで、財産を納めた倉垣院(正倉院)・政所院</p> <p>サブリ村野 ・サブリ村野の整備については、昭和48年度に建築され現在廃校となっている旧村野小学校の校舎等を改築し、市民による様々な文化・まちづくり活動の拠点となる施設及び災害時の避難所を整備する。</p>	

都市再生整備計画の区域

枚方中部地区(大阪府枚方市)	面積	680 ha	区域	枚方市 新町2丁目から牧野阪2丁目の1部
----------------	----	--------	----	----------------------



枚方中部地区(大阪府枚方市) 整備方針概要図

目標	歴史と文化を身近に学び生かすとともに、安全で安心に暮らせるまちづくり	代表的な指標	イベント等への参加者数	(人/年)	150	(19年度)	→	250	(24年度)
	①歴史的遺産と文化施設を活かした、都市の魅力を感じ、住み続けたいまちの形成を図る。		市民活拠点施設の利用件数	(件/年)	11,772	(21年度)	→	17,512	(24年度)
	②幹線道路整備による、道路ネットワークの強化と安全・安心なまちづくりを進める。		歩行者の安全率	(%)	70	(21年度)	→	100	(24年度)
			幹線道路の渋滞長	(m)	120	(21年度)	→	30	(24年度)

